



東北大学グローバルCOE

第1回

Network Medicine特論

講義のお知らせ

長嶋 剛史 博士

(理化学研究所 免疫・アレルギー科学総合研究センター)

「遺伝子発現データ解析手法概論」

日時: 7月23日(金)17時30分～

場所: 医学部5号館2階201号室

長嶋剛史先生は理化学研究所 免疫・アレルギー科学総合研究センター細胞システムモデル化研究チームに所属されており、生命現象をシステムとしてとらえ、細胞の制御メカニズムを解明しようとする「システムバイオロジー」の研究をされています。マイクロアレイのデータ解析、特に乳がんに関与した解析においては大変造詣の深い先生です。

今回の講義内容は下記の通りです。

—DNAマイクロアレイに代表される計測技術の発展によって、遺伝子発現の網羅的測定が身近なものとなってきた。マイクロアレイ実験によって得られるデータは大量の数字の羅列である。ここから生物学・医学的に意味のある情報を抽出するためには、どのような解析手法が利用可能であり、それらがどういった目的に用いることができるかに関する情報が必要不可欠である。本講義では、いくつかの典型的な解析手法についてその動作原理と適用例を紹介することで、受講者が自身のデータを解析する際の一助となることを目的とする。—

Network Medicine特論では、最新のNetwork Medicine研究を紹介しています。最新の医学研究を理解するために必要な知識を多くの学生・教員間で共有したいと思います。

Network Medicine特論は医学履修課程の大学院講義です。受講学生は履修簿を持参し、修了後にサインを受けること。聴講は自由大歓迎です。皆さん是非ご参加ください。

拠点リーダー 岡 芳知 / 担当 西田有一郎